



## 多くの方々に感謝

### 「ふるさと石部学遠足」 (5月11日)

自治会役員・各種団体・役員・PTAなど地域の方をはじめ、企業や警察の方など、100名以上の方々が、一緒に歩いたり、安全確保のために見守ったり、説明したりしてくださいました。本当に多くの方々のおかげで実施することができました。

子どもたちは、感謝の気持ちを「ありがとうございます。」という言葉で表しながら、安全に我慢強く歩き通すことができました。また、目と耳と心でいろいろな見聞を深め、地域を見直すことができました。お世話いただいた方々には心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



1年 松籟公園



2年 吉御子神社



3年 勧請縄吊



4年 (株) ゴーシュー



5年シーアイ化成(株)



6年 紫雲の滝

終わってから作文を書きました。ほんの一部ずつですが紹介します。

- ・道に立っている人もみんな笑っていて、石部は笑顔いっぱい町だなと思いました。
- ・けがなく帰ってこられるかなと心配だったけど、いっしょに歩いてくださったり立ってくださったりたくさんの方がいたので、安心して行くことができました。
- ・石部には国宝の古くからあるお寺があって大きな広い工場があって、とってもやさしい人がいて、本当にいい町だなと思いました。
- ・雨山グランドには、きれいなきれいなお花が、あちこちにあって、また、色もいろいろあって、とってもきれいでした。
- ・地いきの人やけいさつの人が見守ってくださったのでけがをしなくて学校に帰れてよかったです。ありがとうございました。

## 「野菜の苗植え」 (5月14日)

4月当初より、草引き、耕運、畝作りと、多くの方々にお世話になった畑に、2年生が夏野菜の苗を植えました。この日も、多くの方々にご指導いただき、ナス・キュウリ・ピーマン・サツマイモ・ミニトマトの苗を1本1本でいねいに植えました。

今までお世話になったことに感謝しながら、これからは自分たちの手で心をこめて世話をします。土に触れ植物に心通わせることは、大きな情操教育になります。それとともに、草引きなど、汗して働くことにより収穫する喜びを味わってほしいものです。



## 「田んぼの施肥・田植え」(5月7日・18日)

地域の方々に肥料の準備をしていただき、ご指導を受けながら元肥を散布しました。その後、耕運・代掻きをしていただき、18日には田植えをさせていただく予定です。

ほんの一部の仕事の体験で、とても自分たちで育てたと言うにはほど遠いものですが、これがきっかけとなって米作りの仕事に興味をもち、働く人の苦労や工夫を感じる学習に発展させたいと考えています。



その他にも、花の苗のポット移植や草刈りなど、多くの方々のおかげで学習できていることに感謝致します。ありがとうございます。

## 「創立記念日」 (5月10日)

138回目の創立記念日に、今も残っている「古いもの」の話をしました。私が石部小学校に来て最も感動したのが「昭和三十五年度卒業生一同」と書かれた2枚の鏡でした。他にももっと古いものもあるのですが、この「割れ物」が割られずに掛かってあることに、先輩たちの心を感じ、それを今の子どもたちに伝えました。そして、話を次のように結びました。

どれもみんな、それぞれの時代に生きた人々の思いがこもっていると思いませんか。それは、仲良く元気に一生懸命に勉強しようという思いです。そして、その思いは、ものを大切にすることによってあらわれています。ものを大切にすることは、人も大切にします。人を大切にすることは、一生懸命に努力を続けられます。さらに、そんな子どもたちを支える地域の人たちがいました。

他にも昔から大事にされているものはいっぱいあります。また、探してみてください。そして、今までの人たちの思いを感じて、みなさんも、仲良く元気に先生の言われることをよく聞いて、一生懸命に勉強してください。

教室へ戻ってから、一人ひとりが話を聞いて「心に残ったこと」や「考えたこと」を書きました。ほんの一部ですが紹介します。

- ・52年前の鏡が今残っているということは、石部小のひとたちが、走らず、あばれず、きまりを守っていてすごいなあと思いました。
- ・この学校には、古くから残されているきちょうなものがたくさんある。とても歴史があって周りの人たちから支えられているとてもすてきな学校なんだなあと思いました。
- ・たくさんのお金を出してできた学校なので物も全部大切にしようと思いました。
- ・この校舎があるのは、とてもやさしい人たちがすんでいるからなんだなあと思いました。
- ・この歴史をうけついでいきたいと思いました。
- ・子どものためにピアノとかをくれた人がいるので、もっと勉強をがんばろうと思う。
- ・石部小学校にこめられている、たくさんのお金の思いを忘れずに学校生活を送っていこう。

## 「ありがとう！」(何気ない日々のなかで見た、心温まるできごとを紹介します)

- ・1年のトイレ掃除をしていた男の子。中に入りたそうにしていた1年生の子に、「どうぞ。」と言った後、「あっ、床がぬれてるな。」と、掃除用に自分が履いていた長靴を、さりげなくぬいで貸していました。

